

常総生活協同組合

発行/副理事長 大石
tel:050-5511-3926

COOP-JOSO News Letter

2012年 国や社会が少しでも良い方向になりますように。

昨年は大変な一年でした。震災と被ばくの当事者になりました。突如、歴史と時代の只中にいることを知りました。いくつ年を越しても忘れてはならない年です。

遅々としてすすまない国の復興支援の姿や格差と分断の現実。国民や子どもの被ばくを回避するために必死で努力する姿ではなく、事実を隠して被ばくを放置したり、安全と言いくるめようとする国や行政の姿がありました。

放射能のために、人々の間にたくさんの亀裂が生まれました。福島の人々の様子は心痛みます。

放射能汚染は、私たち消費者と生産者が「いのち育む食」という共通の目的で長い年月をかけて築いてきた人の関係も一瞬にして分断し利害相反させました。いのちを守るための選択で心苦められるとは何ということでしょう。共に乗り越えてゆくには身体と心に苦しさを刻んで、この分断の根を断ち切る以外にありません。放射能汚染の現実には直面してはじめて、私たちが原発事故の本当の深刻さをわかっていなかったことも思い知らされました。

国連は2012年を「国際協同組合同年」と決めました。しかし、自助や公共などという響きのいい言葉では済まない問題に直面しています。黙って耐えていると、たいへんな社会になってしまいそうです。

皆が安心して平和に暮らせる国に。2011年を機に日本が、そして世界の歴史が変わってゆくために。

わたしたち大人ができること、皆で力を合わせてできること。精一杯いっしょに頑張ってみましょう。



【すこしうれしいニュースです】 常総生協が「平和・協同ジャーナリスト基金」 奨励賞を頂きました。

昨年12月2日、常総生協の活動が「平和・協同ジャーナリスト基金」から表彰されました。

「平和・協同ジャーナリスト基金」は、反核・平和、協同・連帯、人権擁護などを推進するための報道に寄与したジャーナリストらを顕彰するために、市民の寄金によって1995年に設立され、「市民が選ぶ、市民が贈る、日本版ピュリッツ賞」と言われ、今年で17回目とのこと。

これまでに、鎌田實さん、広河隆一さん、鎌中ひとみさん、吉永さゆりさん、沖縄タイムス社などが受賞されています。

今年の「大賞」は、『原発崩壊』などの写真集で有名で、先般も東海村駅でCO臨海事故時の東海村の人々の写真展が開催された、写真家・樋口健二さんと、12月10日の授賞式でもごいっしょさせて頂きました。

奨励賞5点の中に常総生協も選ばれました。市民から推薦された52点の中から常総生協が選ばれた「選考経過」が次のように発表されました。

「基金賞は、優れた作品ばかりでなく、優れた活動も顕彰の対象としてきました。今回は常総生活協同組合の活動に奨励賞を贈ることになり

ました。

生協はいまやスーパーと同様の小売業に化したとの指摘がなされています。その中であって、常総生協は組合員7,000名という茨城県の小さな生協ですが、独特の活動で注目を浴びています。組合員主体の運動と共同購入中心の事業を展開し、他の生協にはみられない活動をすすめています。福島第一原発の事故後は、放射能汚染を測定したり、東海第2原発廃炉の住民訴訟を準備しているなど、脱原発の運動を始め、地域のリーダーシップを発揮しています。」

平和・協同への組合員の活動が評価され、いっそう頑張っ！という市民からのメッセージです。

何より、国などの権威ではなく、「市民から贈られる」というのがいちばんうれしいことです。表彰状と共に素敵な楯と賞金を頂きました。賞金は生協の活動奨励基金として有効利用させて頂くことになりました。



12/10東京での授賞式には大石が出席しました。楯(右)

契約大豆備蓄資金＋生産共済掛金

『大豆基金増資』1口300円へのご協力 をお願いいたします。

今年はおCRNo.「466」に口数ご記入の上、下記「大豆増資申込書」を合わせてご提出下さい。

- 新しい組合員さん、ならびに今年新たに「味噌づくりに挑戦」される組合員さんには、**大豆のご注文とあわせて下記「大豆増資」へのご協力を**よろしくお願いたします。
- 大豆1kgに対して1口300円の増資をお願いしています。**大豆の備蓄資金＋大豆生産共済掛金**折半負担金として活用させて頂きます。
- 「増資」に加算される形となりますので、通常の出資金に加算され脱退時は返却されます。
- 大豆増資して頂いた組合員さんには、不作で大豆が不足した時には優先的に大豆を供給いたします。
- すでに大豆基金増資に参加して下さい方も、さらに追加のご参加を！

【大豆増資申込書】(OCRNo.466へも口数ご記入願います)

コース名 _____ 班名 _____ 氏名 _____ 組合員No. _____

増資口数 口 円 (1kgの大豆注文に対して1口300円が目安)

(※OCRによる増資番号 466 は、味噌用大豆の企画がある3月1回まで受け付けています)

原発・放射能に負けないぞ！

今週は手作り味噌用大豆特集

味噌づくりをやめるわけ
にはおかない！

中面でわたしたちの大豆の放射能検査の詳細報告をしています。菌が生きている「手作り味噌」こそ放射線による発がんリスクを低減させます。頑張りましょう！

【放射能に負けない身体づくり みそ作り特集】

2012年手作り味噌、寒仕込み

私たちの手作り味噌用契約大豆(石岡市島田さん)

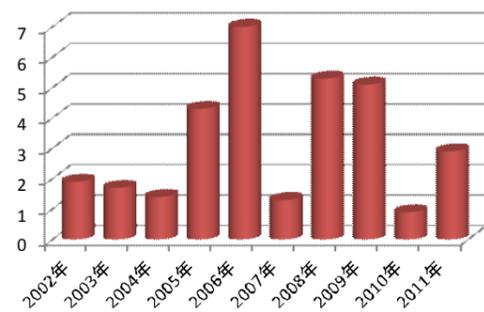


2011年産 2.9トン を収穫、全量買い上げ

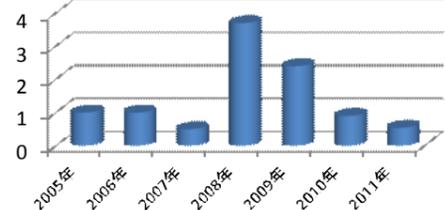


収穫大豆を袋に入れる島田さんの奥さん↑
選別中の大豆をチェックする島田さん→

契約大豆収穫高年次推移(トン)



備蓄の推移(トン)



2011年産の私たちの契約大豆

2011年産の契約大豆は、7月に種まきし、年末12月中旬に収穫を終えました。

収穫量は、2007年、2010年の不作時より少し回復して2.88トンが収穫できました。

昨年が不作で「備蓄」が540kgしかありませんので、手作り味噌に必要な大豆は約2.2トンなので今年の収穫大豆を使わざるを得ません。

(大豆の備蓄基金への出資協力をお願いします(ニュース裏面))

心配されたのは放射能。

畑の土壌検査からスタートして途中の枝豆からは不検出だったことから少し安心していましたが、静岡の大豆からさえ検出される結果が出る中、組合員家族が心込めて手作りする大豆ですので、詳細検査を実施して実態をすべて明らかにした上で利用をしてもらおうということになりました。結果は右ページの通りです。

放射能に負けないぞ！東電・国のために長年培ってきた手作り味噌をやめるわけにはいかない

検査結果が出る過程で、生協内部でも年末ギリギリまで議論を重ねました。「組合員家族が心込めて自分たちの味噌を手作りする。その原料大豆がわずかであっても汚染された。許せない。生産者からすべて買い上げて、東電本社と経産省に”鬼は外！”とぶちまけに押しかけよう」という意見もありました。「市販の大豆も同様の状態。来年以降スーパーに並ぶ味噌にもセシウムが入ってくるが、市販のものでは本当のところは表示されない。ならば素性がわかる原料での手作りが結果として一番ではないか」「手作りを中止することは東電と国に負けることになる。二度と同じ過ちをさせず、この地を再生できるのはこの地の生産者と消費者しかいない。しかし黙って食べるというわけにはいかない。この悔しい思いを生産者と共に別な形で訴えよう」。

議論の結果、検査の結果を詳細に明らかにして「手作りしよう！」と呼びかけることとしました。

【放射能は大丈夫？】

生協の検査機では大豆・煮大豆ともにND(検出限界各10ベクレル)だったため、お米と同様に、Ge半導体検出機による各段階の精密検査を実施しました。

大豆(乾)で微量の放射能(7ベクレル/kg)

煮ると1.8ベクレル/kgに落ちます！

(煮汁に1.2ベクレル/kg溶出)

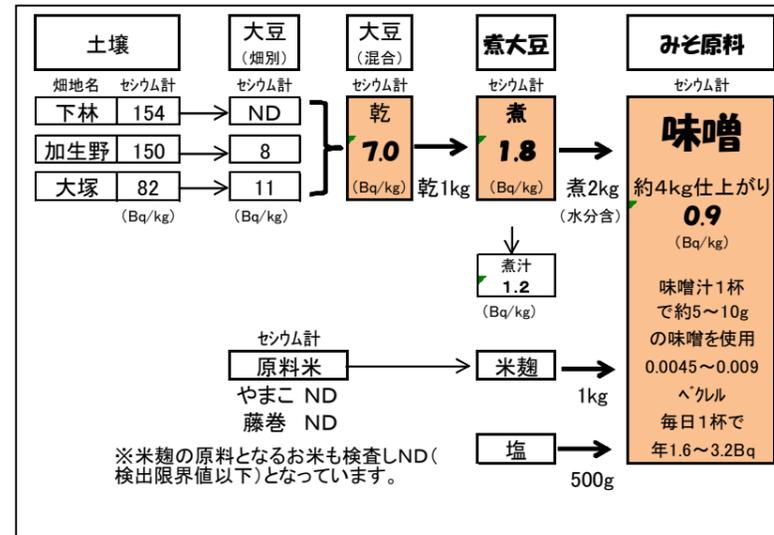
■土壌と乾燥大豆

【土壌】種まき直前(7月)の畑3ヶ所の放射能濃度は80~150ベクレル/kgで県内では低い水準でした。

【大豆(乾燥)の精密検査】

収穫している最中にそのまま頂いてきた畑ごとの大豆の検査では、生協の検査機では「ND」(検出限界値以下 検出限界は約10ベクレル)でした。そこで同位体研究所に検査を依頼し、畑ごとにはND、8ベクレル/kg、11ベクレル/kgを検出。

「選別後」の大豆の検査結果は7ベクレル/kgでした。



■煮ると1.8ベクレル/kgに

次に味噌づくり手順に従って、大豆1kgを水に浸けたのち煮て、その煮大豆と煮汁を精密検査(5.5時間)しました。

その結果、煮大豆は「1.8ベクレル/kg」と減り、煮汁は「1.2ベクレル/kg」という結果となりました。

詳細では

核種	煮大豆 (Bq/kg)	煮汁 (Bq/kg)	定量限界
ヨウ素131	ND	ND	0.2bq/kg
セシウム137	1.0	0.7	0.2bq/kg
セシウム134	0.9	0.5	0.2bq/kg
セシウム計	1.8	1.2	

(同位体研究所 20,000秒 ゲルマニウム半導体検出器)

水分を含んだことにもよりますが、浸水して煮ると、セシウムは減らせられることがわかりました。

今年は残念ですが「煮汁」は捨ててください。

■味噌になったときは

この煮大豆が手作り味噌の原料となりますので、結果として出来上がる味噌(4kg)は、0.9ベクレル/kgとなると考えられます。味噌汁1杯が約5~10gの味噌を使いますので、味噌汁1杯には約「0.0045~0.009ベクレル/kg」となる計算です。

Cs137 Cs134 計

島田さんの大豆(石岡市)	Cs137	Cs134	計
	7	ND	7

■各地の汚染状況

多くは「20ベクレル以下」ということで数値は公表されていません

20ベクレルを越えたサンプル数値

都道府県	市町村	Cs137	Cs134	計
宮城県	山元町	54	43	97
宮城県	白井市	33	22	55
福島県	福島市	69	50	119
	川俣町	19	20	39
	新地町	44	48	92
	南相馬市	100	79	179
茨城県	川内村	49	40	89
	日立市	53	46	99
	東海村	36	26	62
千葉県	茨城町	48	28	76
	神崎町	45	28	73
静岡県	御殿場市	8	6	14

(農水省データより)

■全国的に多くは20ベクレル/kg以下

「大豆」は7月種播き→11~12月収穫のため、3月の放射能の直接のフォールアウトは免れたものの、土壌からの吸収が高いようで、広い範囲で確認されています。

多くは20ベクレル以下で「不検出」ということですが、20ベクレルを越えるものが地域別に発表されています(上表)。